

Section 1

ドン・キホーテグループとは

Our Story



現在のドン・キホーテの前身「泥棒市場」の店頭



「ドン・キホーテ」1号店となる府中店



24時間営業で各地の繁華街や地域社会を支える存在に



幅広い年齢層に向けた新業態「MEGAドン・キホーテ」

逆張りの発想で、業界常識を覆す

ドン・キホーテグループの前身は、創業者である安田隆夫が1978年に東京都杉並区に開店した雑貨店「泥棒市場」です。小売業における経験もノウハウもネットワークも何もない状態からのスタートでした。ここで生まれた常識にとらわれない発想やDNAが、現在の当社グループにも脈々と受け継がれています。

閉店後の深夜に明かりをつけて陳列作業をしていたところ、営業中と間違えて店舗を訪れるお客さまがいらっしまったことから、夜間に需要があることを発見。これが、「深夜営業」の始まりでした。

また、店内スペースが狭く、倉庫スペースも限られていたため、床から天井まで商品を積み上げて、大量の手書きPOP(商品紹介カード)を付けて陳列しました。これが、「圧縮陳列」「ジャングルのような宝探し空間」の始まりでした。



信じて頼む ～権限委譲～

1989年3月、東京都府中市に「ドン・キホーテ」1号店が開店しました。創業者・安田は従業員に自分のノウハウを教えようと試みましたが、思い通りにいきませんでした。

そこで安田は、従業員を「信じて仕事を任せる」ことにしました。商品仕入から価格設定、陳列、販売まで店舗運営における業務のほとんどを任せました。これが「権限委譲」の始まりであり、当社グループの本質的な強みとなっています。

さらに、権限が責任や報酬と連動する「成果報酬制度」を導入。すると従業員は高いモチベーションを保ちながら、仕事を「ワーク」ではなく「ゲーム」として楽しみ

始め、試行錯誤を重ねながら互いに切磋琢磨し、従業員の自由演技が活きる「有機質な買い場*」を実現することができました。それが、現在の当社グループ店舗の独自性につながっているのです。

*当社グループは常にお客さまを主語に転換していることから、店舗における「売り場」を「買い場」と称しています。



社名の由来

「ドン・キホーテ」の社名の由来は、スペインの文豪セルバンテスの名作にちなんでいます。既成概念を覆しながら、自らの理想のもと突き進む主人公ドン・キホーテのように、新しい流通を創造したいという願いを込めています。